



# 三光幼稚園だより 10月号

http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp  
ブログ: http://sanko-kg.minato-kyo.ed.jp/blog  
公式 X: https://mobile.twitter.com/sanko kg



令和6年9月28日  
港区立三光幼稚園  
園長 藤井 未知江

## ポジティブ・ワード

園長 藤井 未知江

先日、昨年度に引き続き、パリオリンピック銅メダリストの須崎 優衣選手が来園しました。今年もお話を伺い、一緒にストレッチをしたり、準備体操の実演を見せていただいたりしました。子どもたちは、自在に回転したり教員を軽々と肩の上に持ち上げて歩いたりする須崎選手の姿に驚き、目を丸くしながら「すごい!!」と大きな歓声を上げていました。

技術はさることながら、一度は負けても最後までオリンピックの舞台であきらめずに戦い抜き、銅メダルを手にした須崎選手の精神力とその姿は、ニュースなどでも大きく取り上げられました。

特に年長組の子どもたちの中には、御家庭でオリンピックでの須崎選手の試合の映像をすでに観ていた子が多く、関心がとても高いようでした。園でも皆でその試合の映像を観た際、子どもたちは「(須崎選手が) すごかった。」「あきらめないのがすごい。」「すぐに周りの人に『ありがとう』と言えるのがすごい。」「また4年後に金メダルをとってほしい。」と口々に話していました。

今回、全園児が直接、須崎選手と対面し、実演や講演でその素晴らしさを垣間見ることができました。子どもたちはあらためて、そのすごさ、素晴らしさ、あきらめずに努力することの大切さを実感したようです。

須崎選手は「ポジティブ・ワードを大切にしている」と話されていました。「負けたくない」よりさらにポジティブな「勝ちたい」という言葉を、常に念頭に置き、練習に取り組んでいるとのことでした。

この考え方は、これからの社会を生き抜く子どもたちにとっても大切であると思います。今回の出会いや体験が、子どもたち一人ひとりの心の糧となり、どこかであきらめないことの大切さを思い出し、強い気持ちで困難を乗り越えていく人に育ってほしい、と願ってやみません。

### ✿ 教育目標 ✿

しょうぶで元気な子  
豊かな心をもつ子  
自ら考えて行動する子



とても優しい笑顔でお話をされていました。



一人ひとりの子どもと握手をしてもらいました。



教員を軽々と持ち上げて歩く須崎選手

## 10月の保育のねらい



### 3歳児たんぽぽ組

- 自分の思いを動きや言葉で表しながら遊ぶことを楽しむ。
- 教師や友達と一緒に、ダンスやかけっこ遊びなどをして体を動かす楽しさを感じる。
- 園生活の決まりや約束が分かり、自分から守って行動しようとする。



### 4歳児ちゅうりっぷ組

- 友達と遊びの場や遊びに使うものを作ったり、簡単なやりとりをしたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 様々な運動遊びに取り組み、自分なりに力を出す喜びや友達と動きを合わせる楽しさを感じる。
- 秋の自然や栽培物に関心をもち、変化に気付いたり遊びに取り入れたりすることを楽しむ。

### 5歳児すみれ組

- 友達と共通の目的やイメージをもち、思いや考えを伝え合いながら遊びや生活を進める楽しさを味わう。
- リレー、ダンス、タグラグビーなど様々な運動遊びに取り組む中で、自分の力を発揮したり、思い切り体を動かして表現したりすることを楽しむ。
- 運動会に向けて、学級の友達と気持ちや力を合わせて活動に取り組み、やり遂げた充実感や達成感を味わう。



